

手紙

教育研修部

水上 鞠華

MIZUKAMI MARIKA

私には大好きな祖父母がいます。

祖母は2018年の10月に、祖父は今年の1月に亡くなりました。これは大好きな2人に向け、初めて書く手紙です。

かずちゃん、最後に会った時、21歳大学3年生だった私は24歳社会人2年目になりました。あの時は将来やりたいことも全然決まっていなくて、自分がどんな仕事に就くか全く想像できていなかった。でもね、私は今JWセンターの職員として産業廃棄物の適正処理と循環型社会の形成に向けて日々取り組んでいます。「え！まりちゃんすごいね！」って喜んでくれるかな？

しげちゃん、去年の3月に転院した時に1度会えたり。新型コロナウイルスの影響でそれ以降は、1度も会うことができなかったね。会いたかった、社会人になって楽しかったこともしんどかったことも話したかった、ずっと我慢してきたのにな。せめて最後に、もう1度だけ会いたかったね。しげちゃんの姿をこの目で見たかったなあ。

正直、しげちゃんのことは今もまだ受け入れられずにいるけど、私は何とかやっています。だからね、たまには2人で会いに来てね。私、ずっと待ってるよ。

編集後記

本号では、令和2年度のJWセンターの事業報告を掲載しております。新型コロナウイルス感染拡大の状況の中で、各種事業に様々な影響がありましたが、対策や解決に向け取り組んだノウハウを今後に活かし、信頼いただける事業を推進してまいります。

「コラム」では、7月23日開幕の東京オリンピック・パラリンピックの資源管理戦略をご紹介いただきました。次世代に引き継ぐものとして、前回1964年は都市インフラの整備とすれば、今回2021年では持続可能な社会をけん引する経済社会システムの変革を掲げられています。

「連載講義」では、廃棄物処理法の罰則について定義、規定の拡充、環境法学視点からの考察も含めて、読者の方に分かりやすく解説していただいております。

「電子マニフェストユーザー事例紹介」では小川工業様の導入例を紹介しています。社内説明会を実施され不明点があれば社内で質問ができるよう体制をとられ、約4か月かけて電子マニフェストを導入されています。導入検討の際の参考となれば幸いです。

本誌の編集は緊急事態宣言期間と重なり、在宅勤務、移動の自粛等により「産廃クローズアップ」の取材記事をお休みしております。また、巻末の「近隣散策」では、当センター（東京都千代田区）の近隣ではなく、埼玉県在住の広報室担当者が訪れた場所を探り上げています。近代日本経済の礎を築いた人物の生地についてエピソードを交えお届けします。

最後になりましたが、ご多忙の中、記事をお寄せいただいた執筆者の皆様、編集にご協力いただいた皆様、本誌を読んでもくださった読者の皆様に心から感謝申し上げます。（広報室）

■本誌に関する連絡先：総務部広報室（e-mail：jigyo@jwnet.or.jp）

〈アンケートへのご協力のおお願い〉

より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ（以下のURL）に掲載しています。本誌に関するご意見、ご要望を是非、お聞かせください。

URL https://www.jwnet.or.jp/info/kikansi/kikansi_anq/index.html

JWセンター情報（季刊）VOL.21 NO.2 発行日：2021年7月15日発行 発行人：関 荘一郎

発行所：公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階
TEL：03-5275-7111 FAX：03-5275-7112 <https://www.jwnet.or.jp/>
デザイン・印刷：大日本法令印刷株式会社